京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず。

●安奉解決の眞相 (淸廷の親日主義)

安奉線問題に關して我國が自由行動に出づべき旨を通告したるに關し淸國一部の人民中兎角不滿を抱く者ある由なるがこれ日淸談判の眞相を知らざるがために外ならず某事情通の談によれば當時我伊集院公使等の和協的對淸運動は頗る都合よく進捗し淸國も亦親日的態度を取つて妥協すると可とすといふに傾きたれ共軍機大臣にして外務部總理たる慶親王と外務尙書梁敦彥が中間にありて阻止し日淸談判の模樣を攝政王に明かに知らしめざりしより談判轉た行難みたるが偶々攝政王は肅親王及び二弟洵濤兩貝勒等によりて實狀を得非常に驚きて痛に外務部をして排日態度を改めしめんどするや此時遲く我が自由行動の通牒は早く淸國に致されたり是に於て攝政王は非常に立腹して梁敦彥を叱責せられ之より諸方針一變して日淸兩國の交涉は急轉直下の勢を以て進捗したり而かも之が裏面には有力なる親日論者(肅親王も其一人)ありて有力なる大臣高官の間に奔走して長く日本と紛議を重ぬるの不可なるを說き此方針に一致せしめたる際なるを以て我が自由行動の通告を好機會として十二分の利き目を見せたる次第なり尙攝政王が日本に好意を寄せらるゝは種々の方面より立證するを得べく又現朝廷派が故西太后派と日に益々溝渠を劃し西太后派は漸次悲運に傾きつゝあり斯く現朝廷派が親日の方針を採れるは賀すべき事にて白面書生が日貨排斥を唱道する如きは寧ろ淸國朝廷と政府有力者の眞意を解せざるに歸せりと云ふ

●韓人と火災保險

目下在京の火災保險會社は外國會社五日本會社七なるが保險率は千圓に對し最低三十圓を限度とし以上は懸對に依る被保險者は固より韓人を本位とするにあれども未だ幼稚なるが往々眞正なる申込人もあり併し殆んど總ては勸誘の結果にして自ら保險の性質を解し申込むは稀れなり各社の競爭は殆んど沒理の程度に迄皮肉なる手段を用ゐ居れり財界と保險は最も密接なる關係を有すれども昨今の如き多くの申込者の要求は殆んど不健康にして目的は融通にあり總じて火災保險の觀念は一般に幼稚の域を脫せず就ては理想の營業は尙ほ十數年の後に俟たざるべからずと某保險會社長は語れり

俳句

●第六回月次集　すみれ會

▲稲妻　むら判

(結 鶍子野鳥多遠山二土天由利白進)

◎秀逸

稲妻や天稚のそどの傳令使　玉糸
宵暗や稲妻に見るつくば山　凸坊
稲妻や山路さびしき一人たび　弓糸
稲妻や酒代が利いて急ぐ駕籠　月哉
稲妻や野道をいそぐ小提ちん　萩水
稲妻や杉の立木の二三本　松月
稲妻や入江にいそぐ船二艘　秋花
稲妻や森に羽ばたく旅がらす　萩水
稲妻や物眼にすごき廣野はら　弓糸
稲妻や肌にればへし山の冷　淡水
稲妻や引きしめて行く馬の口　同

◎

稲妻や野路をよこぎる物の影　萩水

◎自句　ひら

盆踊り音頭は馬子の三太とて
朝顔や白きはものゝ數ならで
初秋や二枚かさねし紺がすり
稲妻や頬ぶるながき馬のつら
鳥羽玉の闇はあやなし雁の聲

●編輯誤つて昨紙に入る

中山大納言

第六十席　桃川燕玉演

すると江上關龍と云ふ人の道場で、日々門人が集りまして擊劍の修業、れ面だ、れ小手、れ胴だとポカ〳〵打合つて居る、彦九郎は之を見まして何時も笑つてばかり居りました、或時の事で關龍と云ふ先生が「高山、貴公は腰に長劍を帶びて天下を往來をするが、劍術は何流を使ひなさる　彦「私は劍術は知らぬ　關「知らぬと言つて刀を帶して往來をする者が、枝方を知らんければ用を足さぬ、無用の長物、結句刀は帶さぬ方が宜い位なもの、劍術を學んだが宜からう、失禮ながら拙者が敎へて進ける、ちとやんなさい　彦「イヤ劍術などは頓とやるに及ばぬ、敵を殪せば宜いのだ、如何なる者が參つても拙者は一刀の下に打殺す事は知つて居る、何も窮屈な思ひを致し、木劍や竹刀を振廻して、れ面だのれ小手だの、怒鳴り立つて飛廻るに及ばぬ、拙者は如何なる者でも一打に倒す、それだけの事を自得して居るから別に劍術は習ふ必要はない　關「それは高山僻論だ、其道を學ばずして出來るものでない、私が是だけ多くの門人があるも、丹精をして敎へても、さて卓越る者は數へる程、なか〳〵修業をしたからといつて容易に達するものでない、況して其門に入らず、なか〳〵出來るものではない　彦「所が出來るから差支はない　關「貴公も隨分强情な人だ、然らば門人と一本遣つて見さつしやい　彦「遣つて見せる、さあ誰でも宜い、早々此れへ出さつしやい、彦九郎一本對手をする、弟子達が「劍術を知らないでそんな大言を揮つたつて役に立たない、此男も豪い人だが元と上州の山の中で人となつて世間見ず、人を馬鹿にして居る、目に物見せて呉れやう」關龍の弟子が　○「高山先生、然らば一本御手合せを　彦「さア來さつしやい、遽て道場へ飛出して　○「道具を御着けなさい　彦「イヤ道具などはいらぬ　○「萬一御怪我でもなさると甚だ不都合………　彦「大丈夫、怪我などをしつこはない、面だなんと云つて斯んな鬱陶しい、却て邪魔になつていかぬ、道具外れも何も遠慮はない、隙があつたら何處でも私を打たつしやるが宜い、併しれ前の方は道具を着けて置け、私がはづむと打ち處が惡く、目でも廻すと樣で困るから、拙者は素面素小手だ」人を馬鹿にした奴があつたもの　○「然らば御言葉に隨ふ」關龍の弟子は稽古に熟れて居るから、胴を着けて眞向から打ち下す、面を充分に打つた、大力の彦九郎でございますから、一打ちで其處へ打ち倒され　○「參つた」　彦「何んなものだ、だから道具を着けて居さつしやいと言つた、何と關龍先生、此調子なら骨まで美事に切れましたらう、どうだ」江上關龍先生クス〳〵笑つて居る　彦「さア誰か二三人代つて御出で」之を見ると他の門人が憤然とした　△「どうだいから氣の利かない、先生は劍術を知らないと云ふ、知らない者に今の負け方は何だ、かたで劍術にも何にもなりはしない、拙者仇を取る………へイ高山先生一本願ひます　彦「さア來い」ヤッと



け面を付け小手を差して　○「さア先生參ります、竹刀を取つてピッタリ中段に付けた、高山彦九郎は竹刀を持つて道場に飛出した、鉢巻も襷も何もしない、ノッソリ道場の眞中に突立つて　彦「さア氣を注けさつしやい、れ前の面を取るから其積りで……　○「大丈夫、御遠慮なくいらつしやい、エイ先生參りますぞ」と竹刀をピッタリ中段に取つてジリ〳〵と進む、彦九郎無雜作に竹刀を大上段に振被つて、ヤッと一聲、關龍先生の弟子が氣合を掛けると、彦九郎大眼を見開いてヤアエイーと云ふ一聲氣合を掛けた、其の聲さながら百雷の落つるが如く、門人が呀と聲に驚き竦む途端に、飛込んで行つ言つて眞向に振被る、エイと喚いて打込む受けるも退くもない、腦天を强かに打据ゑられ△「參つた」出る者も出る者も、五六人其處へポカ〳〵叩き倒され　▲「どうも不思議だ　○「不思議にも何にも大變な眼だ、高山の眼の光りで一つ膽を潰す、所へ持つて行つて聲が腸へピリ〳〵と響ける、恐ろしい聲、あいつでどうもいかぬ、眼を眠つて聲さへ出さなければ負けつこはない」そんな劍術の試合があるものぢやない、どうも吾々は迚もいかぬといふ、彦九郎竹刀を拋つて　彦「どうだ先生、劍術などを別に習ふ必要はない、斯んなもの、ヤッと言つて立上れば十八人二十八撫斬りにして見せる、別に劍術の稽古は要りますまい」關龍大口開いて打笑ひ　關「それは高山いかぬ、御身の論は傍若無人、誠に失禮だが井の中の蛙大海の廣きを知らぬ、私の弟子だ、まだそれ程に業が熟さぬから御手前に打据ゑられる其業に達した者に出會ふ、其許などはかたで論するに足らぬ、暴虎憑河の勇、猪武者頓とどうも論するに足らぬ……

京城新報

韓國財政の前途

韓國政府に對する帝國の立替金は年額四百萬圓の支給は明治四十四年度を以て期限となす、韓國政府は翌四十五年度より之に代るべき新財源を發見せざる可らず、然れども韓國の現狀に於ては容易に好個の新財源を得る能はず、今眼前に好財源と目されあるものは唯だ夫れ土地の收入のみ、之れ迄も今後年々增加する歲出を支辨するは頗る難事業たらむ、要するに韓國今後の財政計畫は頗る大問題にして眞個に研鑽せざる可らず、當局者には如何なる成算ありや、常に帝國の財政を悲觀せる井上侯は限りある財力を以て限りなく韓國に注入するは到底堪へ難しとなす、然り侯が平生の財政論よりすれば當然の言說にして[illegible]帝國の財政を悲觀せざるのみならず、韓國財政の順調に向ふまで年々四五百萬圓位を注入するも敢て左程の影響を受くることなしと信ず、然れども若し韓國にして他に財源を發見し得る方法あらば強ちに帝國が之れが財政中より之を援補支給するに及ばず、殊に韓國の現在は百事創始の際にして年々四五百萬圓位の援補をも得るを到底及ばざるの觀なしとせず、茲に於てか韓國自身が好個の財源を發見して之に應ずる方策を立てざる可らず、果して之に應ずべき好財源なるものありや。

韓國現時の民力を顧れば數百年來の苛政誅求により殆ど涸渇せり、從て國民の元氣消耗し盡くせるの觀なきに非ず、財源を得んとすれば先以て民力を休養し國民の元氣を恢復せざる可らず、民力涵養せられ産業勃興し來らば幾多の好財源は茲に生じ來るべし、而して今は財源の涵養時代にして財源徵收の時代にあらず、故に數年間は此れ等の負擔を輕くして休養せしめざる可らず、大に取らんと欲すれば先づ大に與へざる可らず、若し夫れ此涸渇せる民力に對して更に其負擔を重からしむるに於ては、産業の發達を阻害するのみならず、我保護政治を怨嗟し却て自暴自棄に陷らしむる恐れなしとせず、是故に好財源を得るには數年を以てせざる可らず、然らば如何にして目前の財政を料理して百般の施設をなすべきか、是れ即ち問題也。

如何なる賢哲明相が其局に當るも、無より有は生ぜず、手品師も猶ほ種を要す、前に述るが如く韓國は百事創始の際にして起すべき事業多く、開發すべき土地多し、交通運輸機關の整備、治道水利植林等[illegible]、然るに當局者にして起債せんとし帝國政府又之に援助を與ふるに至らば韓國開發の實を得べけんか、斯くして民力を涵養すると共に其資本によりて産業を興起せしむるは目下の急務ならむ、民力涵養せられ産業勃興し來れば其償却は易々たるのみ、斯の如くにして我保護政治は韓國民の謳歌する所とならむ、當局者夫れ是を實行するの雄斷なき耶。

東京電報

▲大演習組織成

來る今秋東北の野に於て擧行する特別大演習には特に後備兵より後備師團を編制し該演習に參加せしむる筈なるが元來後備師團は戰時に在て編成せらるべき事あるも平時に在て之が編成をなすは今回を以て嚆矢とす所而して今秋の編成は臨時同旅團長は勿論大中隊長下士卒に至るまで悉く後備兵を以て編成し之に加はらしむる計畫なるも尚ほ現行の勤務演習條例に依り將官以下將官は勤務演習に召集し得る事に決定し居るも常に經費の都合に依り將校の召集せられたる事なく特に將官を演習に召集せしは殆んど絶無に屬す然るに露戰役により其必要を認め今回は豫後備將官及上長官をも召集し勤務演習を行はしむる筈なりと(二十四日發)

▲韓銀株割當法決定

昨日韓國銀行設立常任委員會を開き協議の結果株式割當法(三百二株に對し一株)の外は抽籤法に依る事に決定し申込者は株數の多少に拘らず一人に就き一株を抽籤するの權利あるものとす(同上)

▲英國元帥の出迎

日本秋季陸軍大演習參觀の爲め近く韓國を經て渡日すべき英國元帥印度軍司令官キチナー將軍出迎の爲め陸軍省副官大臣秘書官砲兵中佐吉田豐彦、參謀本部員步兵少佐岡西務一、同工兵少佐會田耕一郞の諸氏を滿洲及韓國へ差遣さる(同上)

▲北海道の經營案

北海道經營案は大體に於て決定せり而して本月中に更に細目の決定を爲し內務大藏兩省當局協議の上大臣に申請し同時に豫算に提出すべく尙ほ河島同道長官は同地撰出代議士に近く內容を說示すべしと(同上)

▲細目協商進捗

安奉線工事に關する細目の協商は其後小池總領事と錫東三省總督と交渉中なるが漸次進捗し餘す處は僅かに三四項目のみなれば來月上旬迄には決定すべし(同上)

▲未曾有の大演習

來る十一月五日より宇都宮附近を中心として擧行さるべき陸軍特別大演習は既記の如く第二第七第八第十三第十四の各師團及び豫後備兵を以て編成し更に後備一箇師團の外に騎兵第一、二旅團野砲兵第一、二旅團を參加せしむる筈なるが之を一昨年上總の野に於て擧行せられたる我が陸軍創設以來の大演習なりと云へるに比し倘は二個師團其他各特別部隊を參加せしむる筈なれば該演習の結構壯大なる驚く可し(同上)

東京電報

湖南線有望報告

韓國

[illegible]することを得ざれば先づ明年度は湖南線を起工し京義線は應急改築をなすことに決定せりと(二十五日發)

▲震災豫防調査會

文部省內に開催せる震災豫防調査會は其調査事項決定の上は汎く世間に發表すべし(同上)

▲內務の感化事業

內務省は來十月十一日より向ふ三週間感化救濟事業研究會を開催し委員は特志家宗教家百名にして府縣知事をして二名乃至三名を推薦せしめ講師には井上參事官中山書記官留岡囑託外十數名なりと(同上)

▲地方改良講習會

內務省は感化救濟事業研究會と同時に第二回地方改良事業講習會をも開催せんとす今回は町村の當局者を中心として地方名望家を網羅すべし(同上)

▲間島總領事決定

間島總領事は永瀧氏に決定したるが其任命は來月初旬發表さるべし(同上)

▲齋藤大佐の上京

統監府間島派出所長齋藤大佐は永瀧總領事と事務打合せの爲め至急上京を命ぜられたり(同上)

▲韓國保護費の膨脹

現在我帝國が韓國保護の爲に要しつゝある總經費は二千二百萬圓に上り居れるが來年度に於ては司法機關施設京元線新設費等により二千五百萬圓に達すべしと(廿五日着)

▲露貨の詐欺取財

東京の銀行家中露國紙幣三十萬留を賣物とし百三十一萬留を詐欺取財せるものありて其筋に檢擧されつゝあり委細後報すべし

▲來年度の鐵道豫算

來年度鐵道豫算は收入九千三十二万圓建設改良費三千九百六十五萬圓を計上せり(同上)

▲伏見宮妃御發途

伏見宮若宮妃殿下は今朝御渡英の途に就かれたり各皇族殿下を始め各大臣以下文武官の見送盛なり

▲駐韓軍醫の轉任

三等軍醫星野勇健氏は駐韓軍司令部付仰附けられ二等軍醫關覺造氏は一等軍醫に昇任砲兵第二十三聯隊附仰附けられたり(同上)

香港電報

▲南清地方の颶風

去る十五日以來南清福州附近に一大颶風ありて其慘烈なる百年以來未曾有の事に屬す其損害は死傷二千餘船舶の破壞せしもの二千以上に達し地方民の悲況見るに忍びず

北京電報

▲曲尾博士の入燕

新任吉長鐵道技師長曲尾工學博士は滿韓を經て二十三日入京せり其談によれば滯在二ケ月にて赴任すべし又安奉工事の進行は豫想外に良好なりと(二十四日午後)

▲留學生機關設立

東西兩洋に留學せる卒業生は實技俱樂部と稱する一大機[illegible]
一例會を開催し會員の提出に係る左の問題に就きて縦議したる筈なり
[illegible]
一公共經濟の發展を期せんが爲め京龍仁居留民の精神的團結を謀るの方法

▲[illegible]

[illegible]調を設立したり其委員には陸軍部の良弼民政部の延海汪蔡外務部の汝霖等を推擧したり(同上)

紐育電報

▲輸送賃輕減裁可

湖廣總督より申請したる滿洲高粱輸送賃輕減の件は裁可せられたり(同上)

▲クック氏の優遇

紐育に歸着したる北極探險家クック氏は同市より特別の歡迎を受け且つ同市參事會は氏に對し市民權を與へ稀有の優遇を表せり

ルーター電報

▲匈內閣の總辭職

匈牙利內閣は國立銀行問題に就きて意見一致せざる爲め總辭職を爲したり(二十五日東京經由)

雜報

●部長會議と度支部

別項警察部長會議に於ける度支部提出の會議事項左の如し

一收入印紙及其賣下に關する件、租税其他手數料を收入印紙を以て納付せしむるとは官民相互の便宜とする處なるを以て其配分に付ては郡衙財務署及分賣下人をして專ら其の普及を計り居れり然るに動もすれば是等のものに於て故意に印紙の給付を請求せずして購買者より單に現金のみを受理し私かに不正を圖り又は印紙の再貼用をなすものあるが如し依て警察官憲に於ても之れが取締方につき注意あらんことを希望す

一地方税實施に關する件、地方税實施に付ては徵收に從事するもの等に於て所定の課目以外に其課率を超へて徵收を行ふ弊害なきを保せざるに付充分之れが取締をなし尙從來協議費等の名目を以て徵收を行ひたるものは官憲の認可を經ることを要すとしたるを以て之れと相俟つて相當の取締方を講ぜられんことを希望す

一本部及所屬官廳職員出張の場合援護に關する件、本部及所屬廳職員出張の際暴徒等の危險に依り援護方申出たるときは可成速に應諾せられんことを希望す

一土地測量者取締の件、近來土地測量流行し地方人民中無用の出費をなすもの尠からず如斯は他日政府に於て土地整理着手の障害となるべき虞なしとせず依て相當の取締あらんことを希望す

一税金滯納者說諭の件、多額の税金を滯納し又は税金を缺逋せる者に對し滯納處分又は告發の手續をなさゞるも警察官憲の說諭は特に最も効果あるべしと認めらるゝ場合に於て財務署より其請求ありたるときは可成之れに應ぜられんことを希望す

一建築工事受負者に關する件、工事落札の場合に於て他の同業者より益金配當を迫るの弊害あるを聞く此外受負業者間には容易に洗ひ難き惡例を存するを以て之れが防衛上注意あらんことを希望す

●兩政派懇親會の模樣

一進會大韓協會提携懇親會は再昨夜午後六時より京城ホテルに於て開催せり出席者は兩派各二十八名宛にして多年の疾視反目を融解し得たる事なれば孰れも滿面に笑を湛へ靄々たる和氣場に溢れけりと而して席定まるや準備委員沈宜性氏一場の挨拶を述べ次いで一進會長李容九氏先づ起ちて大韓協會の万歲を三唱し衆員之に和し次ぎに大韓協會長金嘉鎭氏一進會の萬歲を三唱衆亦之に和し更に又大韓協會長の發聲にて大皇帝陛下万歲と一進會長の發聲にて韓國民萬歲を孰れも三唱し後五分間演說あり最後に左の提携主旨を決議したり

一、吾が兩黨は國民の大同團結を主唱實行す

二、吾が兩黨は國利民福に付同心協力す

而して右決議案の提唱せらるゝや拍手して是を迎へ歡呼の聲湧くが如くなりしと云ふ

●昨日の警察部長會議

昨廿五日は午前九時より各警察部長農商工部に參集し同部主管事務に關する指示事項に就き會議し午後一時より中樞院なる同會場に於て鈴木度支部次官代理以下各關係高等官列席の上徵税上の援助、貨幣僞造の取締、缺逋者の處分其他に就き會議したりと

●隔離病院の臨時增設

前項記載の通り再昨來虎病新發俄然猛烈を加へ來り從來の病舍は既に充溢の姿にて最早新患者收容の餘地なく爲めに昨日より北部山手の景福宮を一時隔離病院に代用することとなりたるが其の所在地は土地高潔にして四方空濶頗る患者の療養に適せりと

●大野氏遺族の寄附金

愛媛縣觀光團の一員たりし松山市の富豪大野熊太郎氏は不幸病魔の襲ふ所なりて不歸の客となりたるに就きては其の令弟たる同姓俤氏は此報に接し先日入京したるが今般京城民團及び漢城府民會に對し各金百圓づゝの寄附金を申出たりと

●愛媛縣觀光團の退京

先日來滯京中なりし愛媛觀光團の一部は去る二十三日義州に向ひ昨二十五日夜歸京したれば三日月旅館に滯留中の本部と合し今廿六日午前九時南大門發の列車にて歸國す

●北韓の輕便鐵道

從來淸津地方に於ける粟、大豆等の物資は浦汐及ポセット灣等を經由して輸出されつゝありたるが浦汐港の自由港撤廢は地方の輸出貿易に多大の影響を與へ一方淸津港の開放を見たるも地形の上より頗る不便なるを以て此際豆滿江を利用するは同地方の發達を計る上に於て有利なるものあり廣嶋縣人桐原恒三郎氏外二名は茲に見る所ありて五萬圓を投じ豆滿江河口の海軍錨地たる西水羅より土里に至る四哩間に輕便鐵道を布設せんとて過般來其筋へ稟申中の所此程許可を得たる由にて尙附帶事業として豆滿江に機關船二隻曳船五十隻を以て同江上流の物貨を積載して流下し土里より西水羅へ輸送する筈なりと

●議事日程の變更

警察部長會議に於ける議事日程は左の如く變更されたり▲二十五日別項の通り▲二十六日休み▲二十七日午前十時統監府に參集午後會議場に參集一時より會計事務に關する指示▲二十八日午前九時より警務に關する諮問並に訓示引續き打合會▲二十九日休警務局長より各別に面會▲三十日滯京▲十月一日歸任

[illegible]派の人々は寄り〳〵會議を凝らしつゝあるも結局圓滿なる解決を見るならんと云へり

●各關税統計會議

關税局にては事業の簡捷と經費の節約を計る爲め明年より從來の各税關に於ける貿易統計事務を擧げて本局に移しカード式に依り統一整理する由は既報の如くなるが之れが實行方法に付き打合せを要する爲め各港の統計主任者を本局に招集し二十七日より協議會を開く筈

●在韓外國人の數

各地理事廳最近の調査に係る在韓外國人々口總數は一萬三千百〇九人にして其職業別は左の如し

	清	米	英	佛	獨	露
官吏	兲	六	二	四	六	三
布教	…	兲	公	吾	二	四
商業	四、五哭	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
工業	六三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
農業	一、三六四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鑛業	二〇	七	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
漁業	三九	[illegible]	大	二	五	[illegible]
其他	五、一夳	一四	二	一四	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	一壹	二	八一	三	一四

尙此外希臘人商業四、雜業四、伊太利人官吏四人、鑛業三人、諸國人鑛業五、白國人官吏三人、葡國人鑛業一、雜業一、西國雜業一にして合計職業別官吏一〇二、布敎四七八、商業四、六〇七、工業六六五、農業一三八四、鑛業三〇八漁業三一九其他五二二四合計一萬三千百〇九人なり

●山口觀光團動靜

山本旅館に滯在中なりし山口觀光團一行は二十五日商業會議所訪問の約なりしを以て同所にては夫々準備を整へ待受け居たるに如何なる故にや直ちに龍山に向ひ京城引返しは未定なりと

●大內代議士歸期

進步黨非改革派政務調査委員代議士大內暢三氏は過般來來韓中の處今二十六日出發歸途木浦へ赴き同地にて所用を辨じ然る上歸朝の途に就く筈

●商會議所役員會

當地商業會議所にては二十五日午後七時より役員例會を開き經濟界に關する問題其他を議する所あり

●兩派演說會未定

一進會大韓協會兩派提携の演說會は虎疫流行の爲め其筋の注意ありて延引し日時等も尙は未定なりと

●山根代議士入京

代議士山根正治氏は廿四日午後八時十分南大門着入京せり

●齋藤大佐の東上

統監府間島派出所長齋藤大佐は今二十六日朝直行にて東上の途に就き撤退事務打合の上再び歸韓來月十五日釜山發北韓航路船に搭乘し間島へ赴く由

●御用滊船の入港

統監府御用滊船九重丸は去る二十三日木浦より鴨綠江架橋用品を積載して同江に向つて航行の途中炭水缺乏したる爲め仁川に入港目下假泊中なりと

●兩記者の南韓行

朝鮮日日新聞主筆山下南海京城日報仁川支局藤村忠助兩氏は三南地方視察の爲一昨日仁川出發群山に向ふ

●英國商船の入港

英國商船グローカニ號は廿四日上海より大連を經て仁川に入港

●戶叶薰雄氏出發

大韓日報社長戶叶薰雄氏は既報の如く昨日午前出發東上したり

●遼東丸大連航行

御用船遼東丸は廿三日門司より仁川に入港し廿四日大連へ向ふ

●內田良平氏歸朝

入京中の內田良平氏は二十八日退京歸朝の途に就く筈なりと

●岩田檢事長退京

入京中なりし公州地方裁判所檢事長岩田孝慈氏は廿四日歸任す

●森元醫學士歸朝

元仁川病院副院長森元醫學士は昨朝仁川發郷里廣島縣へ歸國す

●李前內相の死去

前內部大臣從一品李道宰は二十二日虎列剌病に罹り死亡したり

●本日の說敎

▲京城基督敎會『朝』基督の權威(米澤牧師)夜間は都合に依り休會すると云ふ ▲日本基督敎會『朝』意志薄弱なる求道者(石原牧師)『夕』惡疫の撲滅を祈る(同上) ▲メソヂスト敎『朝』聖書に就いて(平信徒)『夕』感話並に傳道說敎、前說敎の續き

公人私人

▲須田鐵路(日本銀行員)廿四日入京天眞樓 ▲武田圖造(同上)二十四日同上投宿 ▲肥塚政平(同上)二十四日同上投宿

近事片々

▲伊藤公が秋田や福島でやった淸國憲政論は今頃反響し淸國朝野の物議の種となる ▲由來公は言說に愼重限伯の如く言質を取られず然るに淸國憲政論は意外の反響也 ▲獨帝の憲制採用の不可說と兩々相對し淸國人を騷がす黃禍に非ずして口禍とは是 ▲木越師團長は近々北韓各部隊の檢閱に出發すと來任早々北韓の野に向ふ雄姿颯爽 ▲大久保司令官も北韓巡視の爲め出發今亦木越將軍行く北韓の野喜で是を迎へむ ▲釜山に鐵工所を兼て船渠設置を數年前より計畫せる者有愈請願の手續をなさんと ▲滿韓鐵道の連絡により釜山は船舶の往來繁頻となる此際船渠の設置は最も必要か ▲聞く設置に就て其筋に補助を仰がんとて今や奔走中也と最初は幾分の補助を要せむ ▲滿韓貨物連帶輸送は目下準備中にて十月中旬には開始せらるべしとは甚だ結構也 ▲斯くして漸次滿韓の交通機關は統一されて世界の公道となる是れ滿韓經營の基 ▲元老李道宰終に逝く彼は頑固なりし丈に自說を持するに堅し元老中では出色の人 ▲彼が曾て外部大臣たりし時には時の公使權助君抔些と手古摺られ丈け志操堅固 ▲韓國の元老も漸次凋落世の年波には彼等も爭はれずと見ゆ生者必滅會者定離か嘆 ▲露國は黑龍江上に千五百間の長鐵橋架せんと云ふ是が出來れば東洋第一の長橋也 ▲何を爲しても露助は矢張り雄大の所がある我滿韓經營も願はくば雄大に施設せよ ▲一進會大韓協會は噂さ通りに一旅幟の下に融和せりと徒に喧嘩するより一致が可 ▲奈良原式の飛行器は實際頗る精巧のもの本年內に實地飛行を試むるとは快心事也 ▲果して本年內に飛行實驗をなさば奈良原式は日本に於ける飛行機の嚆矢なりとす ▲後藤男はニコライ女學校の才媛柴山秀子に學資を給して露都に留學せしむと云ふ ▲其目的は美術の修業にあるも女子の留學は日露の國交を融和するに幾分力あらむ

…鐵道敷設中の內地鐵道部より韓國…他及營業上湖南線の有望なることの報告…政府は財政上湖南京元の二線を起工…

●仁川經濟會第一例會 仁川經濟研究會は豫定の如く昨廿五日午後七時より民役所樓上に於て發會式を兼ね第一例會…

一海運業と鐵道との連絡並に調和を圖る方法
一商工業主と商店員及勞働者間の親睦を謀り以て商工業を發展せしむるの方法

●江景日本人會長 江景日本人會に於ては總會議を開き會長の撰擧を行ひたるに其結果藥師寺知龍氏當選したる

●新聞の押收 新韓民報第百四十七號、新韓國報二十六、二十七號は治安妨害の廉に依り一昨二十四日押收されたりと

●曾禰統監と藝妓

▲渡韓と聞て病氣全快

池上川崎の園馬場にガラ箱振つて駒の足搔も馬券のメートルを力とし一擢千金の穴師等が六人曳の腕車宙を飛ぶ如く往來の賑ひ鏖殺して村の濁酒屋百圓札の釣錢に閉口垂れた競馬全盛の時代には馬政局長官と時めき玉ひ今は遙々と玄海灘の浪路を渡たつて

朝鮮の御代官 承わる曾禰荒助の職樣未だ東京に居た時分は一寸いゝ木挽町の河内屋で御用召になる女と云ふは新橋仲通の菊三升常子の歳の花駒(十九)で義理と酔、宗盛と熊野の聲は恐な事、ビステキに馬鈴薯納豆に辛子の離れぬ仲、二重高襟に紅襟飾毎日毛巻の鬘を當てゝ小鬢の端に火傷をするも厭わぬ程の若殿原も荒助老大人が花駒を乗りこなす手綱捌にアット感服し流石は馬政局の親玉だけあつて鐙の入れ方が別だわゑと指もさゝずに見物する程なれば朝鮮に渡つた後もアラ、ン〳〵アラリイヨと韓女が水砧の歌を聽く度に花駒が微醉の頰をポットとほてらして横座のきの字形水調子の爪彈で此文句は私の心と同じよと中音で歌ふ歌澤の甘つ垂れた可愛さを泌々と思ひ出し例之骨は虎臥す韓山に埋めても醉醒の水を今一度木挽町の河内屋で飲みたいと朝鮮の大官が小石に躓いて倒れようと一進會の老大爺が腹を減らして眼を凹ませようと頓着なく唯々疊深く花駒の事ばかり思ひ詰め遂に一片の情書と云ふもの朝鮮名代の織物を澤山添へて菊三升へ送り玉ふ程なれば花駒の方でも大に敬意を表して天地紅の唳裂紙に赤の御見を待まゐらせ候と古風な返書を出して置いたが先頃の曾禰さん御病氣の時奥方が遙々看護の爲め渡海すると極つたので花駒は奥さん御一人では御手の屆かぬ所もあり旁々故私も是非御見舞に出掛けるわと敷島袋へ化粧道具と讀掛の小說を入れ滊車の切符は新橋で買へば宜いわねと頗る簡單に繰出さうとするを河内屋で以ての外實意は曾禰樣に能く申るからまア御待と漸く朝鮮行を思ひ止まらせたが花駒が渡韓するとの手紙を讀んで忽ち病氣全快に及んだ曾禰御代官花駒が朝鮮行中止と聞いたら亦た急に差込が來て寢る樣にならねば宜いがと統監府出張所の若手連が噂話し(都所載)

●稀代の窃盜就縛

△贓品を積んで山の如し
△南部署刑事の大手柄

自稱京畿道江華生れ目下住所不定の李成龍は去る六月十日龍山本町三丁目ロノ七番戶淵口長利方に忍び入り衣類雜品十六點(價格凡百圓)を九月十日再び淵口方にて雜品柳行李四個を窃取せるを手初めに七月九日には龍山鐵道官舍第六十七號ノ二土田一夫方にて衣類雜品三十點(價格百九十圓)を八月廿四日には龍山本町四丁目前田藤之進方にて衣類數點を窃取せる外數十軒にて價格約八百餘圓の金品を窃取し龍山鐵道官舍居住前科者松本藤兵衛妻ひさ(三八)に情を明かして質入方を依賴して元鐵道通譯とか中村格一とか出鱈目に僞名して龍山桃山遊廓明運樓娼妓成駒(三十)清榮樓八重子事田中ひさ(三一)日曜樓月曜事福岡縣生れ高原いち(二二)に浮れ廻り居りしを爛眼なる南部署長野工藤兩刑事の探知する所となり去廿二日午後八時同人が日曜樓に登樓し月曜を敵娼として豪遊を極めつゝある所に踏込み難なく捕縛し本署に引揚げ田部警部主任となり目下嚴重取調中なるが同人は散髮洋裝の頗る高襟男なるがこれが檢擧に功勞ありし前記兩刑事は桐原警視より特賞せられたりと

●京城市内の虎疫彙報

▲邦人續々罹病す

京城大和町二丁目統監府合宿所樂美寮吏員家入傳(二四)は廿三日午後發病青坡病院に收容す△竹洞八十四統一戶金弘植長女李姓女(十六)は廿三日午後五時發病傳染病院に護送せらる△廿三日午後時南山町三丁目二番戶古川組人力車夫鈴木喜助(十六)はコレラと確定し青坡病院に收容せらる△廿三日午後四時京城儲麗宮前五八統二戶無職李聖道は眞正虎疫にて死亡△廿三日午後水閣橋五十一統李千典はコレラにて死亡△京城本町三丁目三十七番地旅館方雇人竹下な(三十)は虎疫と確定し青坡病院に收容す△南山町一丁目百番戶原籍愛知縣平民當時中島初太郎(二七)は廿四日死亡△南部山林洞四十七統二戶金忠信方李永甫(六三)は廿四日虎疫に罹る△廿四日午後七時金洞八十五統十五戶金德基の子金男(十二)は虎疫にて死亡す△晦洞五十二統八戶會與演方雇人趙姓女(一八)は廿三日眞正コレラに罹る△誠明坊晦洞五十六統四戶韓故植母李姓女(五三)は廿三日午後虎疫と確定す△山林洞三十五統三戶玄致運長男光健李姓女(三三)は廿三日虎疫に罹る△長谷川町一丁目五十番戶松尾岩太郎(三五)は廿四日午後十一時虎疫と確定△廿四日午後南大門通二丁目山崎泰治方同居石工三宅勝次郎(十一)は眞正虎疫にて傳染病院に收容す△廿四日午後四時明治町二百〇五番地瀨口井松太郎方雇人奧村丈太郎(三十)は虎疫にて隔離中△廿四日午後三時小公洞十八統三戶金令市方金順吾(四七)は虎疫にて隔離せらる△廿四日午前十時明洞五十八統四戶金成隼方攪夫吳明成(四十)は虎疫と確定△廿四日午後司畜朴順豐妻李姓女(二八)は虎疫に罹る△廿四日午前日の出町三十三番地寺島妻やすの(三六)は眞正虎疫に△晦洞五十五統十一戶米商宋貞基(五三)は廿四日虎疫と確定△廿四日午後本町一丁目三十二番戶秀太郎妻敏岡ひで(二八)は虎疫に罹る

●仁川のコレラ新患者

▲居留地内に侵入す

仁川に於ける虎疫は其筋の嚴重なる豫防消毒の結果一時絕熄せんとするの模樣ありしが又しても數日前の雨天の爲めか其かあらぬか新患者續々發生すると共に今迄居留地内には一名の該患者を生せざりしにも拘はらず昨朝一名の新患者を發生したるは返すく〳〵も遺憾と云ふべく此際其筋に對し層一層撲滅に盡力せられん事を望むと同時に各自衛生に甚大の注意を拂ふこと肝要なり今左に之れを詳報せんに▲一昨廿五日仁川寺町二丁目六番地の十二居住の大工森元太郎(四三)は眞性虎列拉に罹りたれば直に離隔すると共に消毒を施し同家附近の一區畫に對しては交通遮斷を爲したり尙ほ同日韓人部落に於ける新患者如何を聞くに内洞一松峴洞一牛角洞一花村洞一計四名を生じ初發以來の患者總數は百六十三名(内日八六名)にして其内一昨日五名の全治者四名の死亡者を出したり▲越へて昨日未明仁川港繫留の漁船内に一名の日本人虎列拉新患者を發見したれば直に傳染病者假收容所に隔離すると共に同漁船は消毒の上万石洞沖に繫留を命じたりと尙は亦た仲町三丁目末松方居留の仁川稅關給仕堀内增五郎(十八)は昨朝同病に罹りたれば直に避病院に收容すると共に同町半劃を消毒して交通を遮斷せり▲因みに右仲町の新患者は仁川稅關給仕に奉職中の者なれば同稅關に於ては昨日嚴重なる消毒を行ひたる由なり

●窃盜犯人逮捕せらる

▲被害者各地に跨る

原籍靜岡縣小笠郡平田村大字峰田百三番地平民大工職喜一郎三男松本直吉(三十)は本年七月頃渡韓し爾來一定の職業もなく星野順平と僞名して各地を徘徊中去る八月十七日釜山幸町石塚吳服店にて現金十八圓を同地大廳町金物商松永とか方にて現金十八圓外數軒に忍び入り多額の金員を窃取して九月滊車にて龍山に入込み桃山遊廓入口大工小屋に忍び込み大工道具を窃取し九月四日夜二時過ぎ京城明治町三丁目某建築場にても大工道具一式を攫ひ龍山新市街某古物商に金三圓五十錢にて賣却し九月八日には京城南大門通り某時計商方表戶を釘を以て巧に押開け忍び込み懷中銀側時計二箇を窃取せる外京龍數十ヶ所にて大工道具其他雜品を窃取し悉く金に換ねて酒色に消費し去る十日午後十二時過ぎ一仕事せんと本町通り理事廳四角を通行せんとする所を豫て夜警張込中の南部署巡查に怪まれ誰何せらるゝに驚き逃走せしを直ちに追跡して難なく逮捕し本署に引致し嚴重取調べたるに遂に包み切れず前記の犯罪自白せるに依り尙餘罪ある見込にて引續き訊問中

●惡店員の橫領罪

原籍山口縣豐浦郡豐東村五百二十七番屋敷平民當時京城壽町一丁目九十三番戶大富治平方店員三木謹爾(二十)は以前壽町一丁目大畠德平方に雇はれて居る内自分が注文を取り或は雜貨の配達に從事せるを奇貨とし去る八月中米一斗代金一圓六十錢を窃取して本町八丁目來山某に金一圓にて賣却し九月十三日頃前同樣の手段を以て白米二斗代三圓二十錢を着服せしと發覺し前記大畠より二十三日南部署に告訴せられ田部警部一應取調の上[illegible]留せらる

●巡查虎疫に罹る

東署巡查樺山紀勇氏は連日防疫事務に鞅掌され居りしが一昨夕遂に病毒に感染し手續の上隔離病院に收容されたるが同氏は常々精勤の譽高く署内に於ても頗る重せられつゝありしとの由右に付警視總監は早速昨朝見舞を遣はし慰問の意を表したりと

●景福宮のコレラ

虎疫の猖獗は愈々猛烈を極め景福宮内にも侵入し昨二十五日同宮内女官溜場に在住する女官一名に傳染し昨日は之が消毒の爲め非常の混雜を極めたり

●警部夫人の罹疫

內部寺島警部夫人は一昨日不幸虎疫に罹り隔離舍に收容されたるが同夫人は恰も臨月にて一同大に痛心しつゝありと

●仁川の赤痢患者

仁川松坂町三丁目居住の梶山清子(十二)は一昨日赤痢病に罹り直に避病院に收容さる

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

九月二十六日舊八月十二日八白先勝巳丑さたん△一白●● 間違多し旅行金談凶金品授受に紛爭起り易し△二黑●● 共同協力婚姻の事吉其外平凡△三碧●● 人に委託したる事より間違損害を受くる事あり盜害横領防ぐべし△四綠●● 交際上の破れ又は酒の破れを防ぐべし爭論中絕戒むべし△五黃●● 利潤を得る日なり創始改變の事大に吉但し射倖的行爲を戒しむ△六白●● 不如意の事多し創始改變の事凶病傷盜害防ぐべし△七赤●● 恩を施して仇を作る如きあり散財事多し△八白●● 快欣の日なり萬づ進んで吉但し婦人の身上につき世話事あり△九紫●● 齟齬不遂多し舀常に逃するなかれ的殺なし

九月廿七日舊八月十三日七赤友引庚寅戊る△一白●● 潤達の日斷然たる處置を採り改革變易の奏効を奏す△二黑●● 萎微不振吉△三碧●● 齟齬衝倒多し特に買賣取引等は日常中は可士木建築礦山の業には大に留意すべし△四綠●● 小兒の保護養育上に注意すべし交際上瑕端又は紛爭起り易し△五黃●● 舊常舊產を守り多分を願はざるときは大瑕なし△六白●● 爭論證券印章帳簿に注意し談論激して紛擾を來すなかれ△七赤●● 中傷誹謗防ぐべし恩を施し却て仇を作るあり△八白●● 必ず處理處辨すべき緊急事項を等閑に付し悔あり身神の銳敏の活動を要す△九紫●● 隔絕離間爭端あり凡て厄運の日とす但し冶金の事業は吉右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し

◀平民文庫▶

▲龍山十五間道路の本町三丁目に朝德と云ふ料理屋がある此家は輕便安直と謂ふ觸出しでそうして親切で料理が美味くて女將の客を反さぬ愛嬌が呼物と成て頗る遊客の氣受けが宜しい(ヒイキ客)▲友人の太平洞人君は流行の食性枯連羅にかゝり京城に於て自滅を遂げ候小生は此の度び龍山へ飛んで行き候得共不相變當欄へは邪魔に罷り出べく候間何分よろしく(烟酌玉)▲龍山新市街の白山鑛泉湯は其淸潔にして構造の完美なる點は恐らく京仁間には此の湯の上に出づるもの無けんタヾ恐らくは開業日猶は淺きの故にや入浴者の少なきを(湯好き)▲私は此の度び今までの職を罷めたり蟄宅をしたりゴタ〳〵致し居り候ため御無沙汰仕り候追々整理も相つき候はゝ又々枯木も山の賑やかしに時々御伺申すべく候(うろ子)▲烟酌玉、うろ子二大人よ御見捨てなく御引立てを願ひます(係)▲一銀建築所の非上さん一圓八十錢の事ですからねエ持つて來て上げて下さいよ(彼の妓)▲鹽屋中將の服罪に就て狂歌を一つ『少將の耻にかまわぬ中將も大將重い罪に服しつ』(豚のや)▲長谷川町の怪美人の本體を知らんと欲せば同町紅葉床の隣りの雜具屋で聞け(注進子)▲統監府や内部に虎病患者が出來たが交通遮斷を何故せぬのだらう、夫れから交通遮斷區域の人が夜になると密かに拔け出して遊びに出たりする何とか云ふ郵便局員も見掛けた(尻照三)▲虎列剌が猖獗だと云ふので官衙は半日退けとした何の意味がある何う云ふ譯けか役人が休めば虎列剌が減ずるなら警察署も休んで貰いたい半日なぞと遠慮には及ばない一週間でも二週間でも休んで貰いたい、然るに警察官なぞが非常に大勉强で夜に入るまで働いて居るのは不都合だ休みなさい休めなければ虎列剌が殖ゑる計りだよ(役人根性子)▲學校が休みなので危險の度が一層烈しい斯樣な場合には却つて學校は休まない方針に改めて貰いたい遊んで居るから間食はする接觸面は擴大する監督上大きに困る……イエなに先生は休みになつて差支へないのです私が申すのは子供のことです(貧乏人)▲愛媛觀光團員の紀念撮影寫眞御入用の向は至急申込まれたし(社內柳江)

●配達出携 午後七時三十分

▲無料紹介欄▼

人事部

●被雇たし　中學二年修業年廿五個人商店に被雇たし　氏名在社（四三五）

●雇入　烏類剝製に經驗ある者至急雇入れたし　氏名在社（四三八）

●雇入　建具並に表具職人貳名至急入用　壽町一　桂萬吉

●雇入　小間物行商人用希望の人は左記の所に御來談あれ　壽町二丁目　國分旅館

●募集　敏腕なる外交員至急雇入たし　京城旭町三　京城廣告社

●小僧入用　京城大漢門前　遠藤洋服店

●尋ね人　植澤丑太郎君に至急面會致したし　米倉町紀の國屋　山崎生

●被雇たし　染織學校卒業商業に經驗あり商店を望む　京城美洞三十統十一戸　藤岡廣吉

物件部

●龍山電話格安に至急讓渡したし　氏名在社（四三三）

●龍山未設電話賣却又は貸渡したし　氏名在社（四三四）

●電話至急買受たし　氏名在社（四四三）

●若草町中央に地反二百坪餘一坪に付二圓内外を以て賣却す希望者來宅あれ　永樂座橫　本田

本町赤門を起點として五間を距らぬ上等韓人建家土地共一坪五圓内外に賣却す望の人來宅あれ　永樂座橫　本田

廣告

●電話讓渡したし　氏名在社（四四五）

診察時間　自午前　至午後七時
每月一日十五日休業
本町二丁目
中村耳鼻咽喉科醫院
院主　從七位　醫學得業士　中村健吉

●新聞料　一枚金二錢　一ヶ月前金三十錢　三ヶ月金　六ヶ月前金貳圓　郵稅一ヶ月金
●廣告料　五號活字十九字詰一行一回五十錢　特別　五號活字十九字詰一行金六十錢

發行兼編輯人　高木久太
印刷人　　　　總久神一郎
發行所　京城西部西小門內　京城新報社　電話　六六三番